



地域「防災」モニター活動報告



生協には、地域社会の一員として事業や活動を通じて、地域に存在するさまざまな問題の解決に貢献することが求められています。地域で発生している問題・解決の状況は地域によって異なり、また行政で実施している対策・施策、諸団体の取り組みにも地域差があります。その問題の解決に向けた取り組みをすすめるには、「自ら暮らす地域について、

共に考え・話し合い・行動すること」が必要です。2016年に「地域の防災」アンケートを実施しました。アンケート結果をもとに地域の「防災」について、組合員へ地域情報や共に考える場を提供するため、よどがわ生協の地域を4つに分けて地域「防災」モニターの活動に取り組みました。

※2017年機関紙よどがわ2月号1面にて、アンケート結果報告を掲載しました

2017年3月 アンケート報告会を実施

各地域・市区町の特徴や地形から考えられる災害について交流を行いました。また、知って役立つ防災グッズの紹介や、新聞スリッパづくり、生協商品を使ってローリングストックなどを学びました。

参加者の声

- 各市によって防災の取り組みに違いがあることを知りました。
- ご近所の人と危険に関して話し合う機会はなかったので、よい機会になりました。
- 備える食品に惣菜や缶ジュースがあって意外でした。



4月～6月中旬 「防災」モニター登録を募集

2017年の1年間に、行政の出前講座などの「防災のつどい」や「防災イベント」への参加、また行政との懇談会などに参加できる「防災」モニターへの登録募集を行いました。82人の組合員が登録しました。モニターを対象に「大阪市阿倍野防災センター見学会」「津波・高潮ステーション見学会」を開催しました。



7月～8月 「防災」モニターのつどいを各地域で開催

「とっさの判断・自分たちでできる防災活動・水害と防災を考える・非常用トイレを体験」などを4つの各地域で学びました。

参加者の声

- マンホールには気をつけたいですね！
- 側溝の掃除や、自分の周りをキレイにすることも「減災」になることを、みんなが意識したいですね！
- 非常用トイレの知識、勉強になりました。



8月末～12月 行政との懇談の事前学習会を実施

「防災」モニターとしての活動内容のふりかえりと、行政との懇談会の内容について事前学習会を行いました。

参加者の声

- 過去の水害の記録も振り返ることができて良かったです。
- 高槻市のハザードマップが充実していてびっくりしました。他の行政のハザードマップにも興味があります。



9月～2018年1月 行政との懇談会を12行政区※で実施

よどがわ生協より「防災」モニターの取り組み、防災アンケート結果を報告。モニターのつどいなどで出された質問・要望を行政に伝え、自分でできること・生協でできること・行政でできることについて意見交換しました。

※島本町・高槻市・摂津市・吹田市・東淀川区・淀川区・西淀川区・豊中市・池田市・箕面市・豊能町・能勢町。茨木市へは要望書を提出しました。

行政からの声

- 地域の一般市民の意見を聞く機会がないので、生協でアンケートしてもらえると参考になります。
- 家庭での防災(家族で避難場所の確認、家の耐震化、溝や樋の掃除など)を普段から市民自身が意識してほしい。

参加者の声

- 行政の人が「ここ(防災)は予算を削るところじゃないです」と言われていたのが印象的でした。
- 避難弱者の人たちへの支援や防災情報へのアクセスについても具体的に話し合えて、意義深いものとなりました。



12月～2018年1月 「防災」モニターのつどい～まとめ～を開催

各地域でまとめの会を開催しました。「1年間を通して今まで気づかなかったことをたくさん学んで交流もでき、意識がかわりました!」という声や、多くのモニターから「この度の活動で地域のことを学び、防災について家族や知人、自治会などで学んだことを広げている」という声が寄せられました。



防災の一步は「知ること」から!!

住んでいる地域の防災対策はどうなっていますか?
あの時こうしておけば…では遅いのです。日ごろから自分自身の防災意識を高め、自分の生活している環境を整備し、そして家族・ご近所とのつながりを持つことも大切な防災対策です。



<http://www.yodogawa.coop/>

よどがわ生協 検索

今月の
生協さん
第2支所



高槻市・茨木市地域担当
西 大介(だいきすけ) 西でございます!座右の銘は「千里の道も一歩から」よろしくお願いします!



エコアクション21
認証・登録番号0006727

よどがわ市民生活協同組合は環境マネジメントシステムに基づいたとくみを行なっています。